

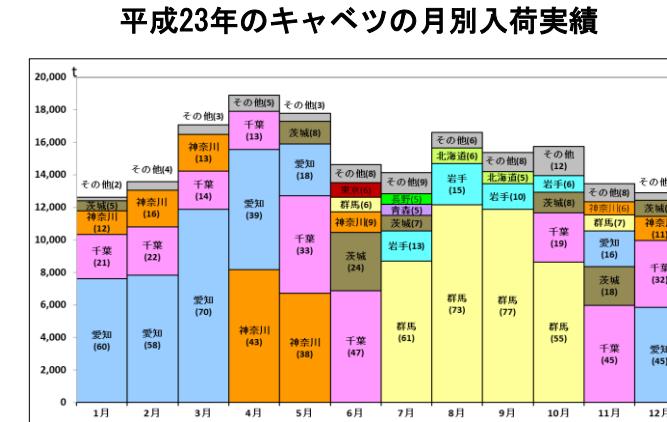
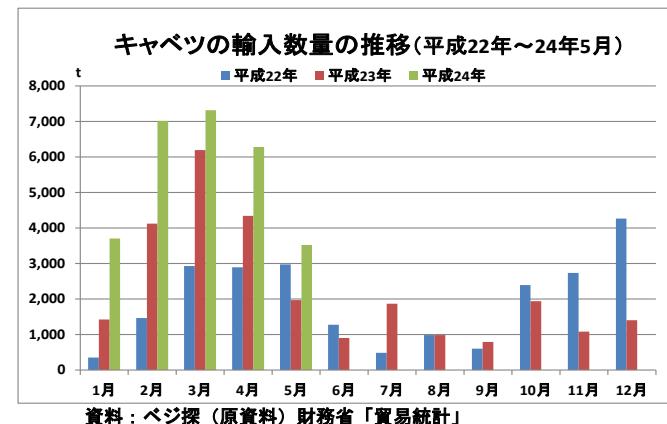
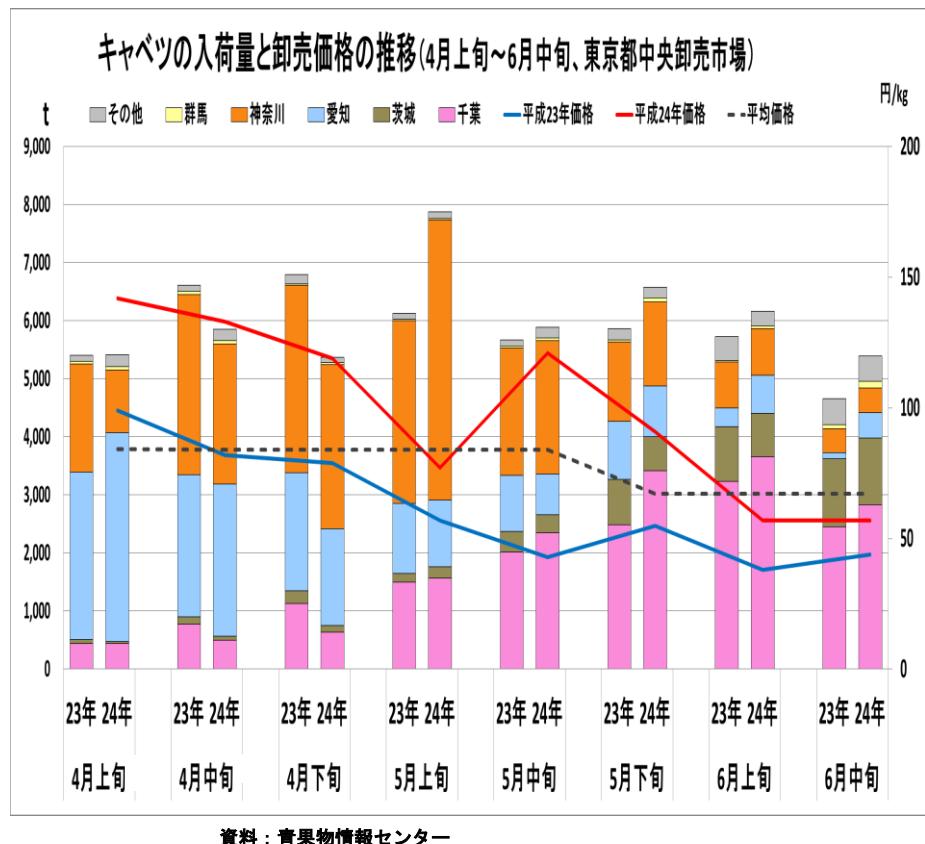
トピック — キャベツの需給動向 —

キャベツは、今冬の寒波の影響から、4月までは前年より少しなめの入荷量となり、価格が高めに推移していたが、5月上旬からは、入荷量が前年より増加傾向となり、6月は価格が平年を下回って推移している。

これは、
① 本来なら4月に出荷されるものが後ろにずれこみ、5月上旬、神奈川産の入荷量が大きく増えたことに加え、
② 5月中旬以降の千葉産の入荷量が前年を上回って推移していることによるものと思われる。

以上のような状況から、1～5月の輸入量は、多かった前年をも大きく上回り、すでに前年の1年間の輸入量を超える状態となつてゐる。

今後は、
① 千葉産にまだ残
量があること、
② 7～10月の入荷量
の過半を占める群馬
産の生育が順調なこ
とから潤沢な供給が
しばらく続くと見込まれ、
輸入量は減少し、
価格は平年を下
回った状態がしばらく
続くと予想される。



●問い合わせ先 独立行政法人農業産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の収穫・価値向転レポート」は月2回公表しています。公表時にメールマガでお知らせしますので、ご希望の方はペジ選択のトップ画面、メールマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の収穫・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。